

自己評価結果公表シート（令和3年度）

学校法人育保学園 くまのだ保育園

1. 本園の教育・保育理念

「一人ひとり」の個性が輝く毎日を送る事ができるよう環境を整え、様々な経験と遊びを通じて健全な心身の発達を助長し、情操豊かな子どもの育成を目指す。

2. 本園の教育・保育のねらい

- ・自ら考え、行動する力を育てる。
- ・人を思いやる気持ちを育てる。
- ・集団生活を通して、規範意識を持つ力を育てる。
- ・新しいものを生みだそうとする力を育てる。

3. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- ・保育環境の充実
- ・保育者の資質向上
- ・感染症対策と家庭との連携

4. 評価項目の達成及び、取り組み状況

評価項目	取り組み状況・結果
○保育環境の充実	<ul style="list-style-type: none">・毎月の職員会議の中で、子どもの遊びの様子や各クラスの環境についての思い等を伝え合う事で、自分のクラスだけでなく他クラスにも目を向け、保育の幅を広げるきっかけになった。しかし、乳児・幼児間で集まって意見を出し合う機会が少なく、共通理解ができていない事があった為、全職員で話し合ったり、互いに情報を発信したりする機会を増やしていきたい。・「教育・保育環境ガイドライン」を用いて振り返りを行った事で、新たな発見や改善点が生まれ、各クラスの職員間の保育への思いを再度見直すいい機会になった。次年度も引き続きガイドラインを活用する機会を作っていきたい。
○保育者の資質向上	<ul style="list-style-type: none">・外部の研修の年間計画表を回覧し、常に見られる場所においておく事で、見直しを持って参加する事ができた。・外部での対面での研修は人数制限等もあり、少人数しか参加ができなかったが、その都度研修報告書を全職員に回覧する事で内容を共有する事ができた。又、オンライン研修が多くあった為、研修に参加できる機会が増えた。研修の分野については、意識して受講できていない所がある為、意識できるよう工夫が必要である。
○感染症対策と家庭との連携	<ul style="list-style-type: none">・日々の消毒や合同保育の縮小、年齢に応じた給食時のついでを作成等、その都度感染状況に応じて必要な事を職員間で話し合い、実践する事ができた。・保護者参加の行事の開催が難しく、行事の縮小や内容の見直しを行った。感染状況によっては園内の立ち入り制限等もあり、日々の子どもの様子を十分に見て頂く事が難しかったが、日々の様子を写真や動画で定期的に伝える事ができた。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
・保育者の質の向上	<ul style="list-style-type: none">・一人ひとりが積極的に様々な分野に目を向け、研修に参加できるよう、分野毎の研修履歴表を作成し、分野毎の受講状況や年間の研修参加状況を常に把握できるようにする。・研修案内の年間表を掲示したり、いろいろな研修案内を回覧したりするだけでなくミーティング等で紹介する事で興味を持てるように工夫する。
・子ども理解と保育環境の見直し	<ul style="list-style-type: none">・職員会議だけでなく、日々のミーティングの中でもクラスの子どもの様子を発信する機会を作り、園全体でその都度共通意識をもって子ども達に関われるようにする。又、日々の保育の改善点にもすぐに対応できるようにする。
・行事の見直しと地域との連携	<ul style="list-style-type: none">・子ども達の興味や関心に応じた環境を整える事で、自ら遊びを選び、主体的に活動できるようにする。・子ども達の育ちを大切に行事の見直しを行い、できる限り保護者の方も参加して頂く事で子ども達の成長を共有できるようにする。・感染リスクを抑えられるよう、屋外で人数制限を行いながら、地域への園庭開放を行い、地域の方々との交流が図れるようにする。